



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 第一屋製パン株式会社

コード番号 2215 URL <http://www.daiichipan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細貝 理栄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長兼経理部長 (氏名) 細貝 正統

TEL 042-344-7601

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	6,037	△3.0	108	—	153	—	149	—
24年12月期第1四半期	6,221	△3.8	△147	—	△120	—	△113	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 241百万円 (—%) 24年12月期第1四半期 △63百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	2.16	—
24年12月期第1四半期	△1.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	19,516	7,814	39.5
24年12月期	19,519	7,585	38.3

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 7,716百万円 24年12月期 7,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	△4.1	20	—	75	—	2	—	0.03
通期	24,500	△1.2	100	—	200	—	40	—	0.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	69,299,000 株	24年12月期	69,299,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	57,600 株	24年12月期	57,038 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	69,241,608 株	24年12月期1Q	69,243,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策の期待感から、円安・株高基調に転じ、景況感に明るい兆しが見られたものの、実体経済は未だ回復途上にあり、低調に推移して厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間のパン部門の売上高は4,629百万円と前第1四半連結累計期間に比べ217百万円の減収、和洋菓子部門の売上高は905百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ8百万円の増収、その他の売上高は501百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ25百万円の増収となりました。よって、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,037百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ184百万円の減収、前第1四半期連結累計期間比3.0%の減となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の営業利益は、粗利益優先の営業方針の徹底のもと、値引率・原価率の管理強化に努めたこと等により108百万円(前年同四半期は147百万円の営業損失)を計上し、経常利益につきましては、賃貸収入など営業外収益が91百万円で支払利息など営業外費用47百万円を計上した結果153百万円(前年同四半期は120百万円の経常損失)、四半期純利益は149百万円(前年同四半期は113百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し、19,516百万円となりました。負債につきましては、短期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ231百万円減少し、11,702百万円となりました。また、純資産は、四半期純利益などにより前連結会計年度末に比べ228百万円増加し、7,814百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年2月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(機械及び装置の減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社における機械及び装置の減価償却方法について、従来、定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、当グループの経営環境が厳しさを増す中で、平成25年1月より、新たな経営目標を再構築し、収益構造の見直しとして収益改善3カ年計画を策定したことを契機に、設備投資の方針を見直した結果、今後の設備投資は既存設備の維持更新投資が中心となり、長期安定的に稼働する状況が見込まれるため、耐用年数にわたり均等償却により費用配分を行うことが、機械及び装置の実態をより適切に反映できるものと判断したこと、また、グループの会計方針を統一するため、従来の償却方法を見直し定額法を採用することにいたしました。

この変更により、従来の方針によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ39百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

継続的な営業損失について

当グループの業績は長きにわたり継続して営業損失を計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年3月31日）においては、粗利益優先の営業方針の徹底のもと、値引率・原価率の管理強化に努めたこと等により営業利益を計上しました。しかしながら、個人消費の低迷、低価格志向等により同業他社との価格競争が厳しくなることや、円安による原材料・燃料の価格上昇の影響も懸念され、厳しい経営環境が継続するものと予想されますので、引き続き企業経営に影響を与える重要事象等が存在しております。

資金面につきましては、当面の運転資金については十分に確保されております。また、収益面につきましても、長年の赤字体質から脱却するために、業績早期改善計画に従った各諸施策を確実に実行し、収益構造の変革を達成する所存であります。

これにより、平成25年度（平成25年1月1日～平成25年12月31日）においても、黒字転換を図る所存であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,491	1,532
受取手形及び売掛金	3,288	3,225
商品及び製品	58	85
仕掛品	30	26
原材料及び貯蔵品	302	217
繰延税金資産	20	51
未収入金	94	73
その他	130	138
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	5,408	5,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,884	2,843
機械装置及び運搬具(純額)	2,587	2,613
工具、器具及び備品(純額)	158	152
土地	2,451	2,451
リース資産(純額)	485	456
建設仮勘定	12	2
有形固定資産合計	8,578	8,518
無形固定資産	98	94
投資その他の資産		
投資有価証券	743	883
賃貸固定資産(純額)	4,556	4,546
その他	138	130
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	5,434	5,556
固定資産合計	14,111	14,169
資産合計	19,519	19,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	929	868
短期借入金	5,400	5,129
リース債務	137	137
未払消費税等	20	97
未払費用	1,030	1,004
未払法人税等	60	31
賞与引当金	28	111
その他	155	216
流動負債合計	7,763	7,596
固定負債		
リース債務	211	177
繰延税金負債	716	763
退職給付引当金	2,640	2,571
長期預り金	505	495
資産除去債務	97	97
固定負債合計	4,170	4,105
負債合計	11,934	11,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,305	3,305
資本剰余金	3,659	3,659
利益剰余金	427	576
自己株式	△8	△8
株主資本合計	7,383	7,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	184
その他の包括利益累計額合計	95	184
少数株主持分	107	98
純資産合計	7,585	7,814
負債純資産合計	19,519	19,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	6,221	6,037
売上原価	4,592	4,245
売上総利益	1,629	1,791
販売費及び一般管理費	1,776	1,683
営業利益又は営業損失(△)	△147	108
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
貸貸収入	62	67
その他	20	23
営業外収益合計	83	91
営業外費用		
支払利息	29	27
貸貸費用	20	15
その他	5	4
営業外費用合計	56	47
経常利益又は経常損失(△)	△120	153
特別損失		
固定資産除却損	2	—
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△124	153
法人税、住民税及び事業税	24	31
法人税等調整額	△32	△30
法人税等合計	△8	0
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△116	152
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113	149

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△116	152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	88
その他の包括利益合計	53	88
四半期包括利益	△63	241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60	238
少数株主に係る四半期包括利益	△2	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

当グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。